

公益社団法人インテリア産業協会

令和4年度事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## I 基本方針

令和4年度は、「新型コロナウイルス感染症」の影響による様々な懸念が継続的に想定されるなか、ワクチン接種の促進と国・自治体による各種対策により、消費動向が回復し経済活動全般に好影響を及ぼすことが期待されます。

また、近年激甚化する自然災害や各種感染症等による各種リスク増大に対応した事業継続への認識や、「環境」、「社会」等の問題意識のグローバルな広がり等により、様々な業界において健全かつ安定的な事業活動が求められているところです。

このような状況から、協会として以下の重点方針のもと、継続性のある健全かつ安定した事業運営を目指し、インテリアコーディネーター（以下、IC）・キッチンスペシャリスト（以下、KS）資格者の育成やインテリアの普及啓発活動等を通じ、一般生活者の豊かな住生活に貢献します。

### 1. 協会事業全般

激甚化する自然災害や各種感染症等による事業リスク増大に対応するため、各種会議、講座、セミナー等の開催などに、ICTを活用するなどして協会事業全般の推進を行います。

### 2. IC・KS資格者等の能力向上・育成関連

各種リスクの増大や少子高齢化等に起因する市場の変化に対応すべく、これからの時代に求められる役割を果たせるように資格者等の育成に努めます。

### 3. インテリア普及活動関連

一般生活者を対象にインテリアの普及を目的とした各種事業を積極的に開催します。特に、若い世代に向けた幅広いインテリア普及活動も積極的に継続推進します。

### 4. 情報・広報活動関連

協会ウェブサイトの改善を継続するとともに、新たな情報発信の積極的推進などを通じ、協会事業の広報活動を安定的に運営します。

## II 個別事業

### ア. IC等を目指す者への教育、情報提供

#### 1. IC・KSハンドブック等の書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対して、ICハンドブック、KSハンドブックを頒布して、その学習を支援します。また、ICハンドブック統合版（上巻・下巻）は改訂から約9年が経過し、内容の見直しを含めた改訂を検討する時期となっているため、事業委員会、会員、役員、学識経験者等に意見聴取しながら、改訂に向けた検討を推進します。

## 2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

I CまたはK S資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者を対象として、引き続き通信教育による講座を開講します。

### イ. I C等の認定試験

#### 1. I C資格認定試験

第40回I C資格認定試験（一次試験、二次試験）は、全国12地域において次の日程での実施を予定しています。

①一次試験（学科） 2022年10月9日（日）

②二次試験（プレゼンテーション・論文） 2022年12月4日（日）

なお、一次試験については、新型コロナウイルス感染症や激甚化する気象災害等による中止リスクを低減すべく、複数日程による分散実施の2023年度実施に向けた取り組みを推進することとします。

#### 2. K S資格認定試験

第35回K S資格認定試験（学科、実技）は、全国12地域において次の日程での実施を予定しています。

2022年12月4日（日）（I C二次試験と同日、同地域）

### ウ. I C等の登録

#### 1. 資格登録

I C・K S資格認定試験の合格者に対して、資格登録の案内通知を行い、登録申請者に対して資格証を発行します。

#### 2. 登録更新

I C・K S有資格者の定期的な登録更新については、統合システムを活用して、更新案内、登録情報の更新、資格証の交付を確実にを行います。

メールアドレス未登録者に対しては、メールアドレスの登録を引き続き促し、住所不明者に対しては、登録メールアドレス等を活用した現住所確認を継続し適切に更新資料を送ります。

#### 3. I C・K S読本

資格者の学習に有益となる知識・情報を盛り込んだ「I C・K S読本」の制作を継続し、更新案内時に資格更新対象者全員に配布します。また、新規登録者にも配布します。

### エ. I C等の能力向上のための講座等の開催

(1) I C・K S有資格者や一般生活者へのインテリアの基礎知識の習得や能力向上のために、全国各地で講座等を積極的に開催します。開催については、ウェブサイトを利用して広く参加の機会を拡げます。

(2) 高等学校の生徒を対象に、インテリア関係の「出前授業」の実施に引き続き取り組みます。

(3) 地域の公共図書館との協力による一般生活者向けのインテリア普及セミナーを全国規模で開催します。

(4) 好評を得ている生活者参加型のインテリア小物等作成のワークショップ「Let's インテリア」は、全国で実施し充実を図ります。

## オ. IC等が実施する調査・研究に対する支援

IC・KS資格者やインテリアに興味を持つ一般生活者などが行う、インテリアやキッチンに関する調査や研究活動を支援し、広く有益となるテーマに対してその経費の一部を助成します。応募があった調査・研究テーマに対し、協会の普及啓発関係の委員会でこれを審査・採択し、提出があった調査・研究の成果報告書は協会ウェブサイト等で広く公開します。

昨年度に引き続き、インテリア分野とキッチン・水回り分野に分けて募集します。

## カ. IC等を目指す者及びIC等の能力向上のためのコンテストの開催

IC・KS資格制度の普及と資格者等の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な以下のコンテストを継続実施します。優秀作品については、協会ウェブサイトでの掲示や展示会など全国のインテリア普及イベントにおいて紹介の場を設け、作品集や年度カレンダーとして配布し、広く紹介します。

### 1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト（第34回）

本年度も経済産業大臣賞（事例分野）、経済産業省製造産業局長賞（課題分野）の下付を申請してコンテストを実施します。若い世代へのインテリア普及啓発のための「高校生の部門」のコンテストについては、従前どおり一般への募集に先がけて行いその応募の利便を図ります。

### 2. 「知ろう、学ぼうインテリア」アイデア募集

主として学童、中学生、高校生を対象にインテリアのアイデアを募集するコンテストを実施します。

### 3. キッチン空間アイデアコンテスト（第12回）

キッチン空間に関する生活者の動向を踏まえ、自由な発想と提案を求めるテーマを設定し、誰でも応募できる内容で引き続き実施します。

## キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

### 1. 絵画コンテスト

東北支部において、小学生から作品を募集する「こんな部屋いいな絵画コンテスト」を開催します。募集地域は宮城県内とし、インテリアを考える楽しみを児童の素直な感性で自由に表現した作品を募集いたします。東北地域のIC団体との共催によるほか、昨年度に引き続き宮城県・仙台市等からの後援を受けて実施し、宮城県知事賞・仙台市長賞、宮城県教育長賞・仙台市教育長賞・協会支部賞他が設けられる予定です。

九州支部や沖縄支部においても同様な主旨・内容で絵画コンテストを引き続き開催し、今年度は中部支部においても開催する予定です。

## 2. 展示会等の催し

### (1) 本部が参画する催し

インテリアの普及を目的に、引き続き展示会等に取り組み、一般生活者にとって有意義な出展を行います。

### (2) 支部が参画する催し

全国各支部での展示会には、それぞれ地域の会員企業からの協力を得て引き続き出展します。

## 3. 学校への教材頒布

### (1) 中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生を対象としたインテリアの学習用教材「中学校技術・家庭科副読本」の配布を引き続き行います。

### (2) 高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

高校生を対象としたインテリアの学習用教材「高等学校家庭科（住生活）資料」の配布を引き続き行います。

## III 協会の組織運営

### 1. 協会に設置する委員会

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、各事業の実施方針等に対する検討・助言を踏まえ事業活動を推進します。

### 2. 会員活動

インテリア関連業界に横断的かつ網羅的に協会の事業が浸透していくように、引き続き、幅広く関連企業・団体等に当協会への入会を働きかけていきます。本部においては各委員会の活動関連においても会員の入会促進に努めます。

また、協会の事業活動を年4回発行の「会報」に掲載し、主に会員に向けてタイムリーかつ的確に情報提供します。

### 3. 広報活動

IC・KS資格制度の認知度の向上などのために、一般生活者や住宅・インテリア産業界など広く社会に向けて広報活動を継続して行います。

協会ウェブサイトの改善を継続するとともに、新たな情報発信の積極的推進などを通じ、協会事業の広報活動を安定的に運営します。

### 4. その他

IC・KS資格試験受験申込者増や資格申請者・更新者増に向けた改善策を引き続き検討します。

以上